

2019年入試予測【東京多摩地区 男女校】

中学校名	市	主な入試の変更点と予測
帝京大学	八王子市	2月2日午前の2回を特待入試に位置付け、2科4科選択から4科のみに変更する。もともと大学進学指導には定評がある学校で、特に進学校志向の強い女子受験生に歓迎されたようで、模試では希望者が増えている。2回の特待は高難度になるかもしれない。一般合格や他の回次もやや難化するかもしれない、と考えた方がよさそう。
明大中野八王子	八王子市	入試の変更点はなし。附属校人気が全体的に上がっていることから、模試では希望者が増えている回次が目立つ。2月3日のA2回で、高学力の女子希望者の増加が目立つが、1日のA1回も希望者が増えている。5日午後のBも含め、各回とも難度が少し上がりそうで、特にA2回は注意が必要。
工学院大附属	八王子市	帰国生入試の日程を一部変更するが、入試情勢への影響はない。模試での希望者数の動きが目立つものはなく、各回次の難度は2018年並みが続きそう。
帝京八王子	八王子市	人気に変化はなく、各回次とも2018年並みの難度になりそう。
穎明館	八王子市	2月2日午後に2科入試を新設し、注目度が上昇している。模試では新設の午後入試を中心に受験生が増えている。1日午前の1回は2018年並みの難度が見込まれる。新設の午後入試も含め、他の回次は少し難化しそう。注意した方が良い。
八王子学園	八王子市	入試の変更点はなし。模試での希望者数にも目立った動きは見られず、東大医進クラス、一貫クラスとも、各回次とも2018年並みの難度になりそう。
八王子実践	八王子市	従来型の入試科目を大きく変えて適性検査型か英語入試のみとする。模試では難度が変わるほどの希望者の動きはなく、各回次とも2018年並みの難度が続きそう。
南多摩中等(都立中高一貫校)	八王子市	選抜の変更点はなし。人気に目立った動きはない。元々人気と倍率が高い学校なので、2018年並みの難度が続きそう。
法政大学	三鷹市	入試の変更点はなし。附属校人気が全体的に上がっていることから、模試では希望者が増えている回次が目立つ。2月1日の1回で女子、3日の2回で男子の希望者が増えている。5日の3回も含め、各回次とも少し難化すると思って準備した方が良い。
明星学園	三鷹市	人気に変化はなく、各回次とも2018年並みの難度になりそう。
三鷹中等(都立中高一貫校)	三鷹市	選抜の変更点はなし。模試では希望者が少し増えていて、このまま推移するとやや難化するかもしれない。
東海大菅生	あきる野市	人気に変化はなく、各回次とも2018年並みの難度になりそう。
啓明学園	昭島市	一部入試内容の変更を行うが、人気は特に変わらず、各回次ともに2018年並みの難度になりそう。
東京電機大	小金井市	入試の変更はなし。模試では2月1日午後の2回の希望者が増えていて、男子が中心。併願受験生も多いことから、各回次とも難度は2018年並みになりそう。

中学校名	市	主な入試の変更点と予測
武蔵野東	小金井市	一部入試内容の変更を行うが、人気は特に変わらず、各回次ともに2018年並みの難度になりそう。
学芸大小金井(国立)	小金井市	入試の変更点はなし。模試での希望者数の目立った動きはない。学芸大系列の各校は人気は沈静化していて、ボーダーライン付近が少しだけ入りやすくなる可能性はある。ただ、今後の情勢も変化もありうるので、油断は禁物。
中大附属	小金井市	入試の変更点はなし。附属校人気が全体的に上がっていることから、模試では希望者が増えている回次が目立つ。2月1日の1回で高学力の希望者が増えている。志望順位が高い受験生が多い1回が難化すると4日の2回に必ず響くので、どちらも少し難化するかもしれないと考えておいた方がよい。
早稲田実業	国分寺市	入試の変更点はなし。附属校人気が全体的に上がっていることから、模試では希望者が増えている回次が目立つ。男女とも特に高学力の希望者が増えているが、すでに高難度なので、難化しても幅は僅かだと思われる。
創価	小平市	入試の変更点はなし。固定ファンが多い学校。模試では希望者数に目立った変化はなく、2018年並みの難度になりそう。
武蔵野大(現・武蔵野女子学院)	西東京市	2019年度から共学化する。女子校の時は選抜進学、総合進学の2コース制だったが、単一コースに変更する。模試では希望者が増えているが、共学化に期待する女子が中心のようだ。女子は今までの総合進学よりやや上の難度になるかもしれない。男子は女子よりやや入りやすい難度が見込まれる。
立川国際(都立中高一貫校)	立川市	選抜の変更点はなし。人気に目立った動きはない。元々人気と倍率が高い学校なので、2018年並みの難度が続くそう。
多摩大聖ヶ丘	多摩市	入試の変更点はなし。模試での希望者に目立った動きもなく、各回次とも2018年とあまり変わらない難度になりそう。
桜美林	町田市	2月3日の3回を午前から午後に移して2科のみにする、などの変更がある。模試では中堅レベルの学力層の希望者が増えている。また、通学エリアがかなり重なる桐蔭学園が、別学の共学化や募集定員削減などを行い、さらに2月1日午後の入試を廃止するため、同校に受験生が流れる可能性もある。しかし、もともと併願受験生も多い学校なので、各回次とも難化したとしても小幅にとどまるとと思われる。
日大第三	町田市	入試の変更点はなし。模試での希望者が少し増えているが、併願受験生加が中心。各回次とも2018年とあまり変わらない難度になりそう。
玉川学園	町田市	変更点は、国際バカロレアコースの帰国生入試の日程が曜日の関係で1日前倒しになるだけ。模試での人気に変化は見られず、各回次とも2018年並みの難度になりそう。
和光	町田市	小規模な入試の学校。2・3回の時間帯や入試日程を変更するが、人気は特に変わらず、2018年と同じような小規模な入試が続くそう。

中学校名	市	主な入試の変更点と予測
武蔵高附属(都立中高一貫校)	武蔵野市	選抜の変更点はなし。人気に目立った動きはない。元々人気と倍率が高い学校なので、2018年並みの難度が続きそう。
聖徳学園	武蔵野市	2月2日午前の入試を従来型からプログラミング又は英語コミュニケーションの選択入試とするなどの変更がある。こうした入試に対応できる受験生はまだあまり多くなく、入試動向への影響はあまりないと思われる。模試での希望者数も目立った動きは見られず、各回次の難度は2018年とあまり変わらなさそう。
成蹊	武蔵野市	国際学級の定員を増やすが、入試情勢への影響はなし。模試では男女とも希望者が少し増えているが、女子の方が高学力の希望者が目立つ。このまま推移すれば、女子は2月1日の1回、4日の2回とも少し難化するかもしれない。男子もやや難化すると思って置いた方がよさそう。
ドルトン東京学園	調布市	2019年の新設校。アメリカのドルトン教育のメソッドを日本の事情に合わせて取り込む教育内容で、国内だけでなく海外大学進学も打ち出しており、高感度の受験生に人気が上がっている。特に女子の人気が先行している様子。難度は今後の模試での希望者数次第の面はあるが、少なくとも「中堅校の上位くらい」と考えた方がよさそう。
明大明治	調布市	入試の変更点はなし。附属校人気が全体的に上がっていることから、模試では希望者が増えている回次が目立つ。2月3日の2回の希望者が増加の中心。2日の1回は難度に変化はなさそうだが、2回はやや難化するかもしれない。
明治学院	東村山市	入試の変更点はなし。模試の希望者は特に2月1日午後の1回で目立っているが、女子が中心。女子は各回ともやや難化するかもしれない。男子は各回とも2018年並みの難度になりそう。
明星	府中市	一部入試内容の変更を行うが、模試では難度が変わるほどの希望者の動きはなく、各回次とも2018年並みの難度が続きそう。
国立音大附属	国立市	一部入試内容の変更を行うが、人気は特に変わらず、各回次ともに2018年並みの難度になりそう。
自由学園男子部・女子部	東久留米市	一部入試内容の変更を行うが、人気は特に変わらず、各回次ともに2018年並みの難度になりそう。
東星学園	清瀬市	一部入試内容の変更を行うが、人気は特に変わらず、各回次ともに2018年並みの難度になりそう。